



水戸法人会HP

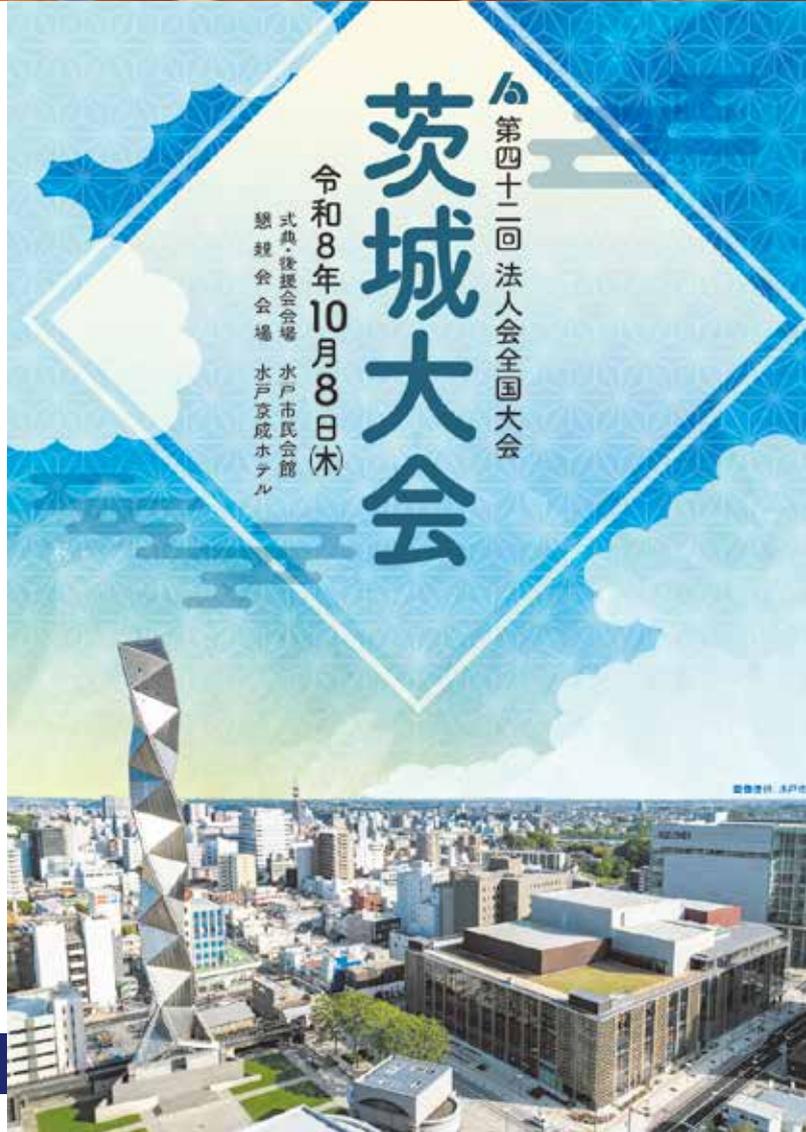
みと



【提供：茨城県観光物産協会】

目次

表紙写真／全国大会	P 1
税務署コーナー	P 2～3
中学生の税についての作文 入選作品		
提言実現に向け行動する法人会	P 4
女性部会 税に関する絵はがきコンクール受賞作品決定！		P 5
学校法人八文字学園で献血を実施！献血を行った生徒様から感想をいただきました。		
青年部会 租税教室	P 6
税務経理研究部会 第31回笠原水源清掃奉仕		
女性部会		
水戸税務署長講演会・チャリティーバザー募金及びアフタヌーンティー		
水戸税務署共催 新設法人説明会	P 7
厚生委員会主管 健康セミナー		
自動車税広告／今後の主な行事予定		
私のオアシスNo.109	P 8
(バイクは男のロマン・(株)潮騒の湯 和田 慶介 ウォーキング・(株)茨城生科研 岡村 雅樹)		
編集後記 広報委員 和知 忠道		



めざします、企業の繁栄と社会への貢献。

みんなで回覧しましょう。

<https://mitohojinkai.or.jp>

国税も!

地方税も!

キャッシュレス納付の 3つのメリット

- ✓ 自宅やオフィスから納付可能!
- ✓ PCやスマホで簡単手続!
- ✓ 現金の準備が不要!



e-Tax

エルタックス
eLTAX



国税・地方税キャッシュレス納付手段の紹介

国税・地方税のキャッシュレス納付手段として下の納付方法をご用意しています。
詳しくは、QRコード等からそれぞれの納付方法をご確認ください。

国税はこちら

地方税はこちら

振替納税 (口座振替)

事前に届出をした預貯金口座から、振替日に自動で口座引落しにより納付する方法です。



ダイレクト納付

e-TaxやeLTAXによる簡単な操作で事前に届出をした預貯金口座から、口座引落しにより納付する方法です。



インターネット バンキング等

インターネットバンキング口座などから納付する方法です。



クレジット カード納付

インターネット上のクレジットカード支払の方法を利用して、「国税クレジットカードお支払サイト」や「地方税お支払サイト」等から納付する方法です。



スマホアプリ 納付

【国 税】専用サイトから、利用するスマホ決済アプリを選択し、納付する方法です。
【地方税】スマホ決済アプリから、納付書のQRコード(eL-QR)等を読み取って納付する方法です。



〔税制に関する最新情報などのご案内〕

財務省ホームページにおいてわが国の税制の概要を紹介しています。

法人税の概要や、中小法人向けの税制はもちろん、財政に関する資料、国際比較や最近の税制をめぐる動きなど、今知っておきたい情報がたくさん掲載されています。

国税庁ホームページのタックスアンサーと併せてご活用ください。

～財務省ホームページ～
「わが国の税制の概要」



～国税庁ホームページ～
「タックスアンサー」



「中学生の税についての作文」 入選作品

【公益社団法人水戸法人会会長賞】

「明日から未来まで支える税」

水戸市立内原中学校 二年 富田 心南

「税金」という言葉を聞いたとき、私が最初に思いついたのは「消費税」でした。消費税は、本体の値段とは別に支払うお金で、今や私達の生活の一つになっています。そんな税金が一体、どのような場面でそのような使われ方をしているのか気になったので、私はインターネットで調べてみました。

そこでは、税金が一番多く使われているのは「社会保障」にかかるものということが書かれていました。「社会保障」とは、私達が安心して生活していくために必要な「医療」「介護」「福祉」「年金」などの公的サービスのことをいいます。さらに、道路や橋の整備、ゴミの処理、そして警察署や消防署に使われていることが分かりました。税金がなかったら、救急車を呼ぶときにお金を払わないと運んでもらえない。学校の机や椅子、教科書が有料になってしまう。

このように、税金は私達の暮らしも命も守り、支えてくれている。このことを心に留め、生活していきたいと思います。

調べていくうちに、ある事を思い出しました。三年前、私が小学五年生の時でした。当時は、コロナが流行しており、オンライン授業が続いた日々でした。いつものようにオンライン授業を受けていると突然、目が痛くなり目を閉じていないといられなくなってしまいました。あの時から、ずっと痛みが続いてしまい、今でも病院に通い続けています。

通い続けている間に一つの疑問が生まれました。それは、大きな検査をしてもいつもの値段と変わらないことです。当時の私は、これが税金のおかげである事が分かりませんでした。この作品を通して、税金のおかげであったことを知り、こんなに身近に税金が使われているんだと実感しました。この経験からも、私は税金のありがたさを学びました。

そのような中で今、問題になっている少子高齢化があります。生まれてくる子どもが少なくなり、段々と高齢者が増えていきます。そうすると、私達が納めなくてはならない税金が増加し、今十パーセントの税が二十パーセント、三十パーセントと増えていくと思います。そうならないためにも、今の税金の仕組みを変えたり、一人ひとりの意識を高めていかなければならないと思いました。

税金は、一人の力では、私達の暮らしを支えきれません。みんなの力があってこそ、これからの未来を支えるエネルギーになると思います。税金は、一人ひとりの明日から未来へと支え、私達の暮らしに欠かせない必要不可欠なものだと改めて思いました。

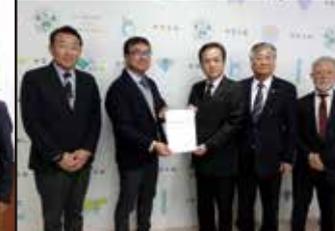
提言実現に向け行動する法人会

令和7年度 税制改正提言活動

水戸法人会では公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な提言を行っています。

この提言活動は、法人税の引き下げなどをはじめ、同族会社の留保金課税制度の抜本的見直し、事業承継に関する税制の創設など、中小企業の活性化に資する税制の構築に寄与しています。

地方自治体

水戸			
	水戸市議会 (10月17日) 左から君島副会長、大津議長、衣笠税制委員長、竹内専務理事	城里町 (10月17日) 左から三橋地区会会長、君島副会長、藤田副町長、衣笠税制委員長、山崎顧問、仲田地区会副会長	大洗町 (10月18日) 左から君島副会長、國井町長、小松崎地区会会長、衣笠税制委員長
			
笠間市 (10月28日) 左から鈴木地区会副会長、岡村地区会副会長、久野地区会会長、山口市長、君島副会長、衣笠税制委員長	水戸市 (10月29日) 左から高橋市長、君島副会長、衣笠税制委員長	茨城町 (11月19日) 左から木村地区会副会長、小林町長、君島副会長、衣笠税制委員長	小美玉市 (11月19日) 左から内山地区会副会長、山西地区会会長、島田市長、君島副会長、衣笠税制委員長

国会議員

水戸			
	(11月5日) 参議院議員 上月良祐氏 自民党 左から 衣笠税制委員長、平島秘書、君島副会長	(11月5日) 参議院議員 加藤明良氏 自民党 左から君島副会長、前田秘書、衣笠税制委員長	(11月5日) 参議院議員 堂込麻紀子氏 立憲民主党 左から 衣笠税制委員長、黒田秘書、君島副会長
			
(11月6日) 衆議院議員 田所嘉徳氏 自民党 左から君島副会長、中川秘書、衣笠税制委員長	(11月6日) 衆議院議員 福島伸享氏 無所属 左から君島副会長、沼田秘書、衣笠税制委員長	(11月6日) 参議院議員 小沼巧氏 立憲民主党 左から君島副会長、小沼議員、衣笠税制委員長、竹内専務理事	

税に関する絵はがきコンクール受賞作品決定!



(選考委員: 水戸税務署 峯村雄紀 法人第一統括官、
同 田邊賢志 上席調査官、イワタアートスクール 岩
田民治 氏、大津順一郎 部会担当副会長、女性部会
正副部会長、事務局 竹内正樹 専務理事)

水戸法人会女性部会は小学生への租税教育活動の一環として、「税に関する絵はがきコンクール」を実施しています。

この活動は租税教育を通じて、小学生に“税の大切さ”や“税の果たす役割”について学んでもらい、その知識や感想を絵はがきにすることで、より税に対する理解を深めてもらうことが目的です。

また、税に関する絵はがきコンクールは女性部会の基幹的な取組みとして、全国の法人会女性部会で積極かつ継続的に実施をしております。

今年度は12月に行われた選考会の結果、267作品の中から表記の作品を受賞作品として選ばれました。

水戸法人会女性部会長賞



笹原小学校 寺門 あおいさん

水戸税務署長賞



吉田小学校 本澤 実生さん

水戸法人会長賞



浜田小学校 笹嶋 美優さん

初めての献血

学校法人八文字学園で献血を実施!

献血を行った生徒様から感想をいただきました。

水戸経理専門学校 診療情報管理学科 1年 大谷 冬華さん

私は、八文字学園に入学するまで献血を受けたことがありませんでした。あるとき友人が「今日献血してきたんだ」と話していましたが、興味はあっても実際に献血をする機会はありませんでした。入学して数か月、学校に献血車が来ると知り、初めて参加させていただきました。最初は緊張していましたが、看護師の方に「腕は痛くないですか?」「寒くないですか?」と優しく声をかけていただきました。すると、だんだんと気持ちが落ち着き、安心して献血を受けることができました。献血は思っていたよりも怖くなく、そして痛みもなく、十数分程度で終わってしまいました。今回の献血に参加したことで、抱いていた恐怖心がなくなり、自分に流れている血液で誰かを救えるかもしれないと考え、少し不思議な気持ちと、嬉しい気持ちになりました。人の為になっていると思うと元気や勇気もらえる気が

したので、機会があったらまた参加したいと思っています。

献血を受けたことのない方、怖くて受けたことのない方、興味はあるけど参加したことのない方、一度でもいいので「勇気」を出して参加してみたいです。それがきっかけで献血に対する見え方や感じ方が変わるかもしれません。献血は誰かの命を繋ぎとめてくれるものだと思います。血液を必要としている人々の為に、一人でも多くの方が献血へ興味を持ち、参加してくれることを願っています。



青年部会 租税教室

青年部会は12月3日（火）水戸市立上中妻小学校で租税教室を開催し、40名の児童が税金への理解を深めました。

授業では、はじめに税金の種類に関するクイズを出題し児童の興味を引いた後、税金の流れや用途についてパネルを使い説明しました。その後、租税教育用のDVDを上映するほか、重さ約十キロの一億円のレプリカを実際に持ってもらい、楽しみながら税金が身の回りにどのように使われているのか等を学んでいただきました。



税務経理研究部会 第31回笠原水源清掃奉仕



税務経理研究部会は12月7日（土）、今年で31年目となる「笠原水源清掃奉仕」を実施しました。会場の笠原水源逆川緑地は一般河川逆川兩岸と連なる斜面林か

らなり、再現した笠原水道（文化遺産）など、歴史を感じさせる公園です。

水源内は近年整備化が進み、ゴミも目立たなくなってきましたが、人目の付かない場所へのポイ捨てや不法投棄が見受けられました。

主催者の大嶺部会長は挨拶のなかで、「笠原水源清掃奉仕は長年続けている社会貢献活動の一つであり、これからも継続して実施していきたい。」と話されていました。



女性部会 水戸税務署長講演会・チャリティーバザー募金及びアフタヌーンティー



講演をされる
水戸税務署
小林全 署長

12月17日（火）に女性部会は水戸京成ホテルにおいて水戸税務署長講演会とチャリティー募金を実施しました。当日は「税務署のあゆみ」というテーマで水戸税務署の小林 全 署長に講演いただきました。

同日開催したチャリティーバザーは参加した女性部会員から総額135,000円の寄付があり、募金収益金全額を水戸市社会福祉協議会に寄贈する予定です。

バザー後は、アフタヌーンティーを実施し、参加さ

れた税務署の皆さまと部会員同志の親睦を深める時間となりました。



バザーの様子

バイクは男のロマン



早いものでバイクの免許を取得してから今年でちょうど半世紀になる。

思い起こしてみると16歳で免許を取得し現在に至るまでバイクとの縁は切れていない。バイクから多少気持ちが離れ数年間一度もバイクに乗らなかった時期もあったが、物置には何かしらのバイクがあった。

現在は2台のハーレーダビットソンを所有し時々乗ってはいるが、眺めているだけでも満足だ。この歳になると色々な理由でバイクから離れる仲間もポツポツいるが、私は乗れなくなるまで頑張るつもりだ。

雨で乗れず、暑くてのれず、寒くて乗れず、道楽者との声が聞こえそうな気もするが、我関せず我が道を行く。バイクは男のロマンである。

又事業所ではツーリング中のライダー様限定の食事と入浴無料のお得なプランを用意して好評を得ている。読者の中でバイクを所有している人がいれば大洗でプチツーリングを楽しみ、途中でこちらのプランを利用してみてはいかがでしょうか。

(株)潮騒の湯 和田慶介

機関誌 法人みと 第211号 令和7年3月1日発行

発行所  公益社団法人水戸法人会

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館14F

電話 水戸 (029) 227-1302

FAX 水戸 (029) 225-3336

URL <https://mitohojinkai.or.jp>

E-mail mitoho@s3.dion.ne.jp

発行部数 4,300部



十数年前のあるイベントをきっかけに、「歩く」と言う事を意識するようになり、それがきっかけで日常生活の中で時間がある時は、極力ウォーキングをするように心がけております。地元の愛宕山の周りを、春は桜や新緑を、秋には紅葉を、冬にはきりっとした空気をと、四季を感じながら歩くことは、心のリフレッシュと健康維持につながっております。

また、一人で歩くことによって色々なことに思いを巡らせ、想像力を鍛える場としても良いと考えております。

桜の咲く3月下旬以降様々なイベントが行われます。山頂近くの大駐車場からの見晴らしも最高ですので、ぜひ近くに来た際にはお立ち寄りください。

(株)茨城生科研 岡村雅樹



編集後記

機関紙「法人みと」211号をお届けします。今回の特集は、法人会の基幹事業である税制提言活動や、女性部会による「税の絵はがきコンクール」受賞作品発表です。絵はがきコンクールでは、子どもたちの豊かな発想力・表現力みなぎる作品に、私たちも改めて税について考えさせられました。また、租税教室や笠原水源清掃奉仕など、活動内容の様子をお届けしております。

今回は、広報委員会になり初めて編集後記を担当させていただきました。原稿にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。今後も、タイムリーで有益な情報発信に努めてまいります。

広報委員 和知 忠道